



青年中央会会長に聞いてみました。

●貴組合のことについてお聞かせください。

昭和59年11月に設立し、今年で31年目になります。組合員数は当初400名程いましたが、縫製業界は、他の業界よりもいち早く、海外生産に乗りだし空洞化を招きました。そのため、国内生産量が100%から3%へと激減、国内企業が減少し、当組合員も現在では24名となりました。そのうち、次世代を担う後継者である8名が青年部に加入、また、19名が外国人技能実習生を受け入れています。

縫製に関わる仕事は、平面のものを立体にする技術だけでなく、綺麗なシルエットや着心地の良さなども含め、豊かな感性が必要です。私達組合員は、この感性を活かした素晴らしい製品である「メイド・イン・ジャパン」をつくっていこうと邁進中です。

●経営方針(もしくは、社訓等)をお聞かせください。

私が専務取締役に就任してから徐々に業務を拡大してきました。

私は、現状維持は後退であると考えており、新工場設立時などには、“一歩でも前進していきたい”という思いを従業員等に伝えてきました。その思いに皆もついてきてくれ、現在は子会社2社を含む3社の経営を行っています。この一歩でも前へ進んでいくべきであるという思いがポリシーです。

●企業PR・仕事内容を教えて下さい。

昭和47年創業、43年が経ちました。

当初はジーンズ、ダンガリーシャツを主に製造していましたが、現在は、コート、ジャケット、ワンピースなどの重衣料からトップス、ボトムスなど単品アイテムに至る婦人服のオールアイテムを製造しています。

小ロットから大ロットまで生産可能で、また、メーカーの要望にも応え短納期も可能です。

来年には、裁断事業にも進出し、事業を拡大していきます。

●経営トップとして いつも気にかけていることは何ですか?

流行に敏感な仕事柄、お洒落にも気を使い、様々な情報を得られるようにと、気を配っています。

また、OEM生産を行っていますが、特殊ミシンが必要となるであろうことを予測し、事前に準備していたことが役立っています。

更に、中国、インドネシアからの技能実習生を受け入れていますので、3年間預かるという責任もあり、毎朝、それぞれの母国語でのあいさつを行っています。母国語でのあいさつを行うと相手のちょっとした変化に気づきやすく、また、そのちょっとした変化に気づくことが大切だと思っています。

●青年中央会の会長としての思いをお聞かせください。

中央会の事業を通じて、各会員が、少しでも業績向上につなげができるように、様々な情報を提供して応援していきたいと考えています。平成28年5月には伊勢志摩サミットが開催されるので、このチャンスを逃さず、仕事に繋げていって欲しいと思っています。現在、当青年中央会、日本青年会議所三重ブロック協議会、三重県商工会議所青年部連合会、三重県商工会青年部連合会が三重県青年友好四団体として協力していくよう調整中で、平成28年早々の調印を目指しています。



むら た せい し
村田 誠司

三重県衣料縫製工業組合青年部会長

企業名 ■ ネイション産業株式会社

役職名 ■ 専務取締役

企業住所 ■ 度会郡度会町棚橋 256-1

電話番号 ■ 0596-62-0251

設立 ■ 昭和 47 年

従業員数 ■ 45 人

～ありがとうございました～